

● 大学入学共通テスト（共通一次試験・センター試験含む）期間中の降雪実績

地域		共通テスト 開始前 61年～78年 (1)	共通テスト 開始後 79年～01年 (2)	共通テスト 開始後 02年～24年 (3)	変化 (3) - (1)
北部・ 日本海側	札幌	88.9%	87.0%	91.3%	+2.4%
	仙台	44.4%	17.4%	17.4%	-27.1%
	新潟	61.1%	52.2%	60.9%	-0.2%
	松江	38.9%	34.8%	17.4%	-21.5%
南部・ 太平洋側	東京	0.0%	13.0%	4.3%	+4.3%
	名古屋	11.1%	13.0%	8.7%	-2.4%
	大阪	0.0%	4.3%	0.0%	変化なし
	高知	0.0%	4.3%	0.0%	変化なし
	福岡	5.6%	4.3%	0.0%	-5.6%

出所：気象庁のデータおよび文部科学省の資料をもとに筆者作成

テスト期間中の「降雪実績」は、豪雪地帯を除けば全国的に低下。

● 「いつも」が浸透する背景

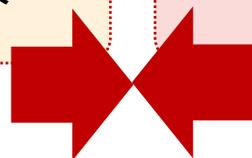
いつも：

出現頻度が高いことを強調する時に用いられる言葉。

「わりと」「ちよくちよく」「よく」と同様、共感を得る際に有用。

「いつも」を口にする人

その発言を「起きやすい」と受け取る人



**過去に起きた「小頻度の大規模な負の出来事」が
双方の心と頭の中にある。**

正（負の反対の意味）の出来事：

幸せ、うれしい、楽しい、おいしい、暖かい、心地よい、などを増幅させる出来事。負の出来事はこれらの逆の要素を増幅させる出来事。

出所：筆者作成

小頻度の大規模な負の出来事は、世の中に「いつも」を生み出す。

● 大学入学共通テスト（共通一次試験・センター試験含む）期間中の最大降雪量 単位：cm

地域		共通テスト 開始前 61年～78年 (1)	共通テスト 開始後 79年～01年 (2)	共通テスト 開始後 02年～24年 (3)	変化 (3) - (1)
北部・ 日本海側	札幌	46	34	27	-19
	仙台	3	6	9	+6
	新潟	75	18	25	-50
	松江	11	41	11	0
南部・ 太平洋側	東京	0	2	10	+10
	名古屋	4	11	11	+7
	大阪	0	3	0	0
	高知	0	1	0	0
	福岡	5	5	0	-5

出所：気象庁のデータおよび文部科学省の資料をもとに筆者作成

テスト期間中の「最大降雪量」は、太平洋側の都市部で大幅増加。

● 小頻度の大規模な負の出来事が生んだイメージと実態

小頻度の大規模な負の出来事発生

テスト当日に大都市が
大雪に見舞われた

有事同時多発
(1970年代後半)

生まれたイメージ

「共通テストはいつも雪」

有事で金価格急騰
「有事の金買い」

実態

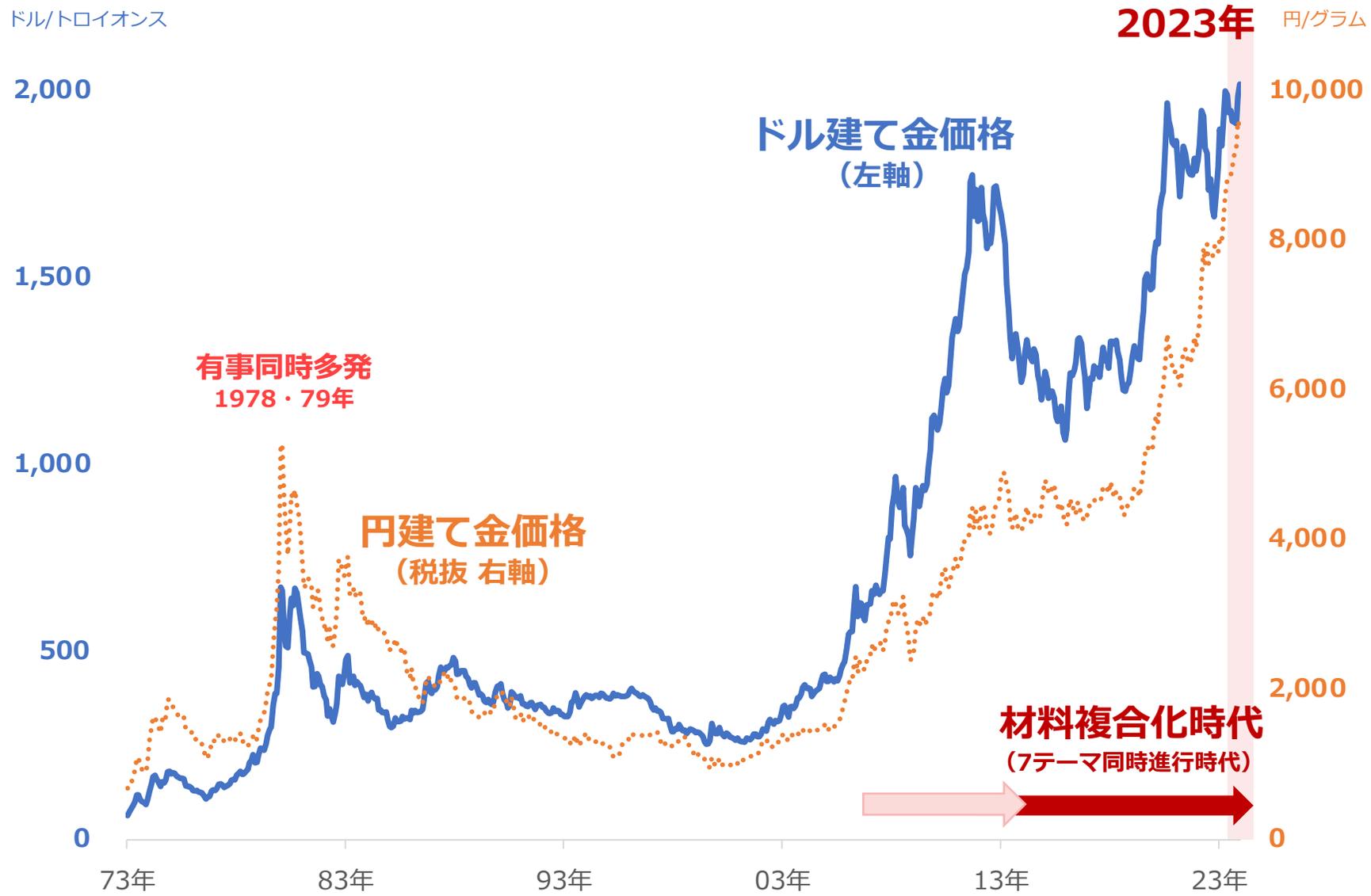
豪雪地帯を除けば、
テスト当日に降雪は
確認されにくくなっている。
豪雪地帯でも同日の
最大降雪量は低下している。

有事だけで値動きを
説明できなくなっている。
有事がなくても価格上昇、
あっても価格下落が
起きている。

出所：筆者作成

イメージは根強いが、実態と合っていない。イメージ先行である感が否めない。

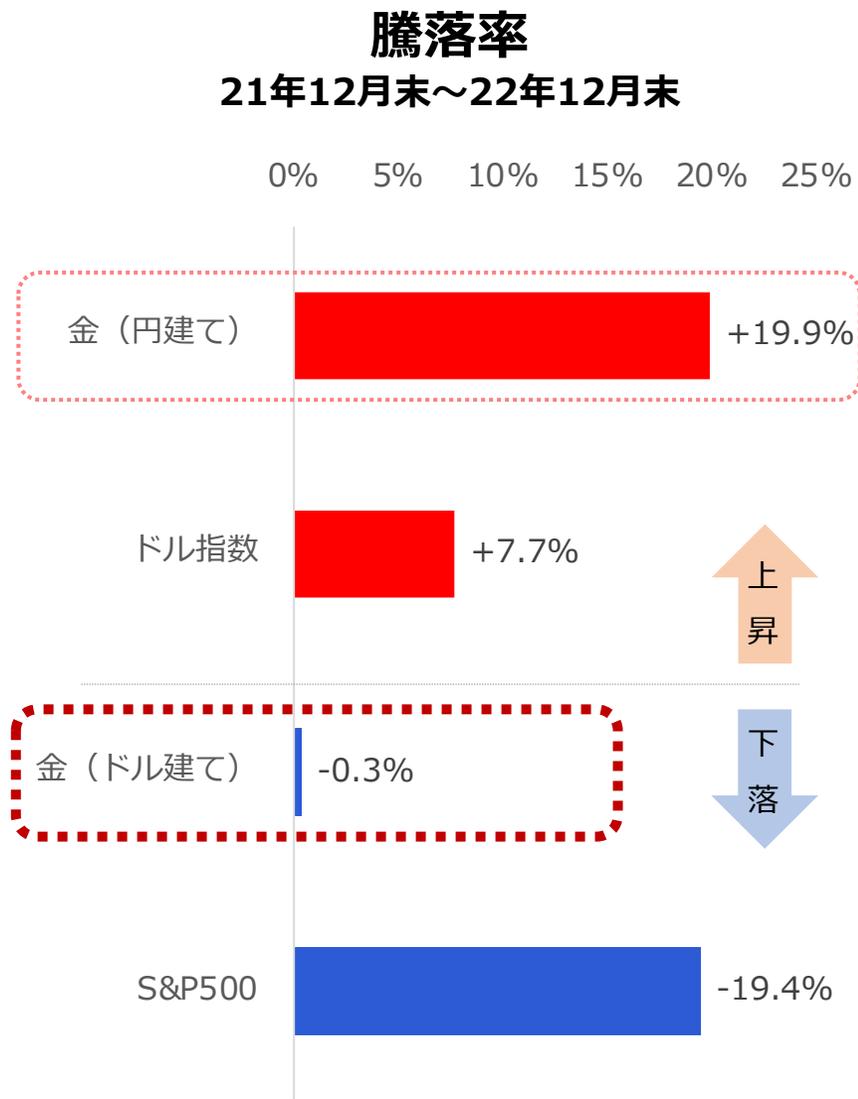
● ドル建て・円建て金（ゴールド）価格の推移（過去およそ半世紀）



出所：LBMAおよび国内大手地金商のデータをもとに筆者作成

「材料複合化時代」の2023年に、金（ゴールド）価格は史上最高値を更新。

● ウクライナ危機が発生した2022年の各種銘柄の騰落率など



値動きの背景



出所：マーケットスピードⅡなどのデータをもとに筆者作成

ウクライナ危機勃発で有事ムードが高まったが、金（ドル建て）は下落した。

● 金（ゴールド）に関わる七つのテーマ（2024年 筆者イメージ）

期間

テーマ

具体（一例）

短中期

(1) 有事ムード

世界規模の不安拡大時における資金の逃避先



イスラエル・ハマス戦争、ウクライナ戦争続く

(2) 代替資産

株式（主に米国株）の代わり



株高

(3) 代替通貨

通貨（主に米ドル）の代わり



米利上げ → ドル高・金安
米利下げ → ドル安・金高

中長期

(4) 中印等の宝飾需要

宗教的・民族的背景による買い手

-

(5) 中央銀行

雇用・金利を調整する銀行の銀行の保有



各中銀行の金保有高増加

(6) 鉱山会社

生産者（高値で増産、安値で減産）



増産・売りヘッジ

超長期

(7) 見えないリスク

後戻りしない「世界分断」

・西側 非西側の対立激化
・異常気象 など

円建て金（ゴールド）は、(8) 「ドル円の変動」も

円安 → 円建て金高
円高 → 円建て金安

F R B 方針転換

出所：筆者作成

材料複合化時代、短中期的には三つのテーマに注目する。